

平成30年度（平成31年度採用）かながわアスリート 就職支援のための企業説明会概要

平成30年6月15日 15時～
ホテル ザ ノット ヨコハマ

本協会では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、世界に羽ばたくアスリートを「かながわ」から育てようと、様々な取り組みをしていますが、今回、神奈川県民の代表として国際大会や国民体育大会等での活躍が期待される、県内アスリートに対する平成31年度採用に向けた「平成30年度（平成31年度採用）かながわアスリート就職支援のための企業説明会」を平成30年6月15日（金）に横浜市内で開催しました。



（主催者あいさつ：鴻 義久 会長）

主催者を代表し、本協会の鴻 義久会長が、神奈川県で育った選手が、本県で競技生活を続け、現役選手を引退後も指導者として、本県のスポーツ界をリードするという仕組みを実現するために、どうしても企業の皆様のお力をお借りしたいとあいさつをしました。

その後、小野 力専務理事が本県で育ったアスリート選手たちの声として、「高校や大学卒業後、地元、神奈川県に就職して、競技生活を続け、更に、現役選手を引退後は、指導者として、神奈川県競技力向上に、貢献したい」と思っています。

しかしながら、競技生活を続けながらの就職活動もなかなか上手く進まず、県内に留まることができず、やむなく県外へ就職をしてしまったり、競技生活を断念せざるを得ない状況となっていることが報告されました。

また、企業サイドからも地元で頑張ってきたアスリート達が、自社の企業名を背負って活躍することで、県民に夢や希望を与えると同時に、企業の知名度を高め、社会貢献の高い企業としてのイメージアップにもつながりますし、社内的には、同僚であるアスリートを社員、みんなで応援することで、社内の一体感が醸成され、アスリートの競技へ取り組む、真剣な姿勢が、社員の士気を高揚させると思われます。



（概要説明：小野 力 専務理事）

このようなことから、トップアスリートと企業とのマッチングが必要であると考え、この企業説明会は、企業とアスリートの好循環を構築するため、開催するものです。と事業の概要を説明させていただきました。

その後、横浜市都筑区に活動拠点を置き、昨年度の全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）で第2位と輝かしい成績を収めましたパナソニック株式会社陸上競技部の佐藤賢一部長から企業がアスリートを採用したメリットなどの事例発表をしていただきました。

パナソニック陸上競技部の志は、「一流選手を目指し、社会人として良識のある人間を形成する」としており、さらに企業としても「スポーツを通じてブランドのイメージ向上、挑戦し続ける選手の姿がもたらす企業活力の向上」を目的としています。選手たちは競技者であることはもとより、企業人としての自覚を持たせるために、経営理念やコンプライアンスの研修なども行われています。社内でも選手を応援し励まし続ける風習が根付いており、現役選手を引退したOGが現在も職場で活躍していることから、選手への助言など万全のサポート体制があります。

さらには、地元中学校での陸上教室やふれあいロードレース（視覚障がい者ランナーの先導役）など、スポーツを通じた地域への社会貢献活動も行われています。

アスリートたちは、強いリーダーシップを持ち、努力家であり、他の社員の模範となることが多く、社員の意識高揚に貢献してくれている。と企業とアスリートの好循環の事例を発表して頂きました。

これを受け、3名のアスリートがプレゼンテーションを行いました。

いつもの競技会とは違った緊張感を持ち、かなりのドキドキ感の中で、それぞれが競技を始めたきっかけから、これまでの競技生活の中での様々な体験について、そして、そこから学んだ多くのことをどのようにして社会人として、仕事の中に生かしていくかなどの発表を行いました。

プレゼンテーション終了後には、羽田慎司副会長からご参加いただいた企業の方々にお礼を申し上げるとともに、「チーム神奈川」に対しまして、引き続きご支援、ご協力をお願いしました。

その後、アスリート達は、企業の方々と個別に、より具体的な話を進めるため、会場を移動し、個別の情報交換会を行いました。

今回の「かながわアスリート就職支援のための企業説明会」は、トップアスリートに少しでも競技に集中できる環境を整備することでさらに活躍が期待でき、企業にとっては社員みんな、選手を応援することで社内の一体感や、選手から何らかの刺激や変化がもたらされること、また、所属アスリートと共に、スポーツを通じた企業の社会貢献など、双方にとってメリットのあることだと考えております。

本会では、このような取組みを通して、神奈川県から世界で活躍するトップアスリートを多く輩出することと、スポーツの力で神奈川が元気になるよう努めてまいります。



〔 事例発表：パナソニック(株)
陸上競技部部長 佐藤賢一 氏 〕



〔 就職希望のアスリートたち、左から村竹
(スケート)、太田(弓道)、岩佐(ス
ケート) 〕